



木山貴臣さん (29歳)

就農地 玉名市横島町
経営作物 イチゴ
経営規模 50a
経営開始年 令和2年



就農のきっかけ

東京の大学を卒業後、飲食店に勤めていましたが、以前から何となく25歳で帰ってきて、農業をしようと決めていました。実際に25歳の5月に帰ってきて親元で就農しました。

農業の魅力

作物を生産することは大変ですが、自分が作ったイチゴを喜んで食べてもらえることが一番です。出荷して終わるのではなく、消費者と顔を合わせて販売する機会を増やしたいと考えていますが、自分の考えでやり方を変えられるというのも魅力の一つです。

苦勞したこと

親の経営をそのまま引き継ぐのではなく、自分の経営を確立したいという思いから、病害虫や雑草対策等に力を入れ付加価値を付けることで、販路の拡大を行ってききましたが、自分の栽培方法を理解し、取り扱ってもらうまでに労力を費やしています。



就農を目指す皆さんへ

自分が作ったものが誰かの喜びになる——

今では、親の農業経営を引き継ぎ、イチゴの生産面積1haを目標に頑張っています。

自分が作ったイチゴを子どもがおいしそうに食べているのを見るのがうれしく、やりがいになっています。

自分は小さいころから、親の農業経営に触れ、経営を開始する際は、経営基盤を継承しており、間近で技術の習得を受けることができましたが、新規に十分に研修を受けることが必要です。

